



初秋、ロシアの風を感じる

バラライカの貴公子が贈る

北川翔

郷愁の バラライカ

Шо Китагава, БАЛАЛАЙКА

with 大田智美
(アコーディオン)



Program

ロシア民謡決定版

一週間 / 黒い瞳 / 行商人
ララのテーマ(映画『ドクトル・ジバゴ』より)
ポーリュシカ・ポーレ
カリンカ / ともしび
ヴォルガの舟歌
ほか(予定)

2016. 9/4 (日)

2:00PM開演(1:30PM開場)

A ¥3,000 B ¥2,000 (税込/全席指定)

一般販売

芸術文化センターチケットオフィス (10:00AM-5:00PM)
☎ 0798-68-0255 (月曜休み ※祝日の場合翌日)

4/17 (日)

インターネット予約 <http://www.gcenter-hyogo.jp>

※窓口での販売(残席がある場合)は4月19日(火)より

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

芸術文化センター会員先行予約受付開始 4/14(木)

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。

あらかじめご了承ください。

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

関西から



兵庫県立
芸術文化センター

文化力
POWER OF
CULTURE

哀愁と躍動。 懐かしのロシア民謡、決定版

これまでに「世界音楽図鑑」シリーズに2度登場し、いずれも満席の聴衆の大好評を得たバラライカ奏者、北川翔。祖父、父の代からロシア音楽の精神を継ぐ若手ホープとして日本で注目されてきただけでなく、本場ロシアでの評価も確固たるものとなっています。バラライカはご存じのとおり三角形の弦楽器。ピックは使わず、柔らかい手首の動きを駆使して、指で弦を鳴らします。そこに表れるのは、たった3本の弦から奏でられているとは思えないほど幅の広い音楽。バラライカという楽器の多彩な表情に、胸が高鳴ります。共演するのは、2012年にも共に会場を沸かせたアコーディオンの若手筆頭、大田智美。郷愁を感じさせるロシア民謡から熱気あふれる舞踊曲まで、たっぷりとお堪能ください。

北川 翔 (バラライカ) Sho Kitagawa, Balalaika

ロシア民謡研究家で合唱指揮者であった北川剛を祖父に、東京バラライカアンサンブル創立・主宰、バラライカ奏者であった北川つとむを父に持ち、幼少よりロシア音楽に親しむ。2004年、ロシア国立ラフマニノフ記念ロストフ音楽院に留学。日本人初の「国際ロシア民族楽器コンクール優勝」を成し遂げ、09年帰国。同年「北川記念ロシア民族楽器オーケストラ」を創立。テレビ朝日「徹子の部屋」、NHK「名曲探偵アマデウス」など、TV、ラジオ、新聞等にたびたび登場。11年にはミーニン指揮「国立モスクワ合唱団」の日本公演にも客演。日本でのロシア民族楽器普及の為、幅広く活動している。世界から注目を浴びる新進気鋭のバラライカ奏者。指揮者、編曲者としても活躍中。



大田智美 (アコーディオン) Tomomi Ota, Accordion

2009年 Folkvank 音楽大学 (ドイツ) ソリストコースを首席で卒業、ドイツ国家演奏家資格を取得。御喜美江に師事。また、ウィーン私立音楽大学でも研鑽を積む。第三回 JAA 国際アコーディオン・コンクール上級の部、第3位入賞。現在はソロや室内楽、新曲初演、オーケストラとの共演、舞台音楽など幅広い分野において、日本をはじめヨーロッパやアメリカなど国内外各地で演奏活動を行う傍ら、音楽大学でのワークショップ講師に招かれる等、特にクラシックや現代音楽の分野でのアコーディオンの普及に尽力している。新しいアコーディオンの可能性を追求し、その魅力を発信する新進気鋭のアコーディオン奏者である。



◎ロシアの民族楽器◎

いまやロシアを代表する弦楽器であるバラライカ、その発祥は、コーカサスやモンゴル、シベリアなどといった説があり、18世紀中ごろに普及し始めたと言われ、19世紀、バラライカの改良と普及に生涯をさげたV.アンドレーエフ (1861~1918) が現在の形に改良しました。そのほかにも、ロシアで愛されている伝統楽器があります。「ドムラ」は丸い胴をもつ撥弦楽器で小さなピックで弦を鳴らします。もともとは12世紀頃に中央アジアからロシアに持ち込まれたと言われますが、こちらがアンドレーエフが、現在のドムラを再興させたようです。「グースリ」は起源の古い弦楽器。中世ロシアではスコモローフ (放浪芸人) が膝に置いてつま弾いていたようです。現在では鍵盤型のものもあります。民族楽器…とは言えませんが、ロシアと言えば「テルミン」も有名。世界初の電子楽器です。箱にアンテナのようなものがついており、機械の上部に手をかざして、音量や音程を操作します。日本にも熱心な愛好家がいるそうです。



▲ドムラを弾く人を描いた16世紀の絵



▲兜型のグースリ

世界音楽図鑑シリーズ2016 PRESENT!

世界音楽図鑑2016年度内で**2公演以上**にご来場いただいた“旅行の達人”には、世界音楽図鑑オリジナルグッズを差し上げます！
(2公演分のチケットの半券をお持ちください。)

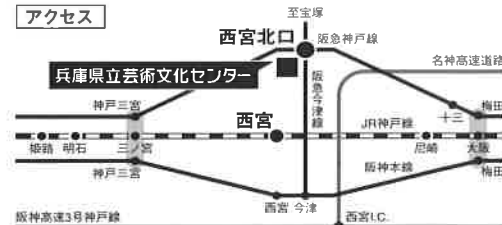
2016 世界音楽図鑑の年間公演一覧

4/3 (日) 旅するチャパラルタ
～バスクの森が生んだ幻の伝統楽器～

9/4 (日) 北川 翔
～郷愁のバラライカ～

11/30 (水) ケルティック・クリスマス
with シャロン・シャノン

アクセス



◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ (連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。